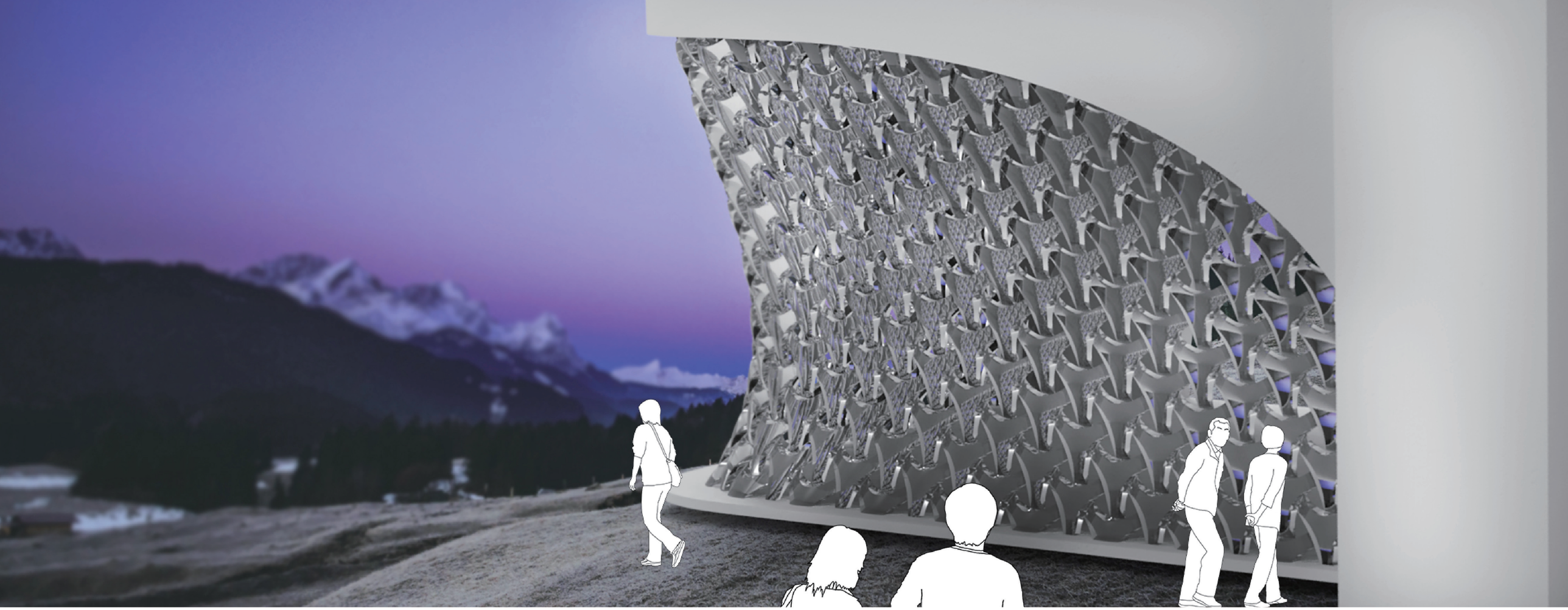


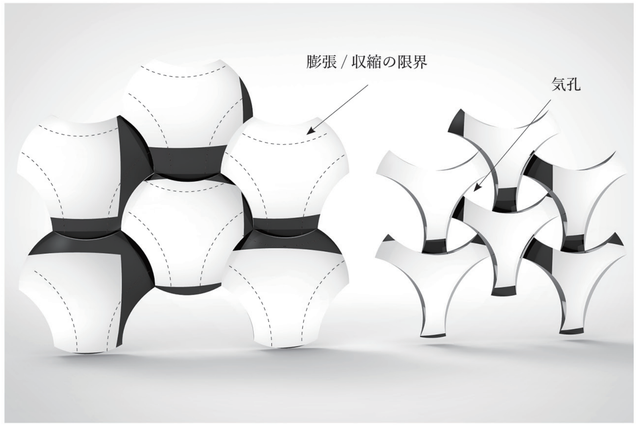
タマムシ

環境によって、美しい生き物になり、変化します。

日本の古語「たま」という美しい物をほめていって、「むし」とは小さい生き物と言いました。ガラスブロックは建物の素材の一つですが、一つづに並んで、全体的形になり、自分に対して、「建築の目」、「建築の細胞」を感じます。そして、ガラスブロックの機能性のは外の明かりを取り込みながら、壁の同じ強度を持ちます。風を避けって、明るい雰囲気もあります。そのいろんな原因があるので、ガラスブロックは四角形で、立てやすいの形になると思います。もし機能性を持って、四角形ではなく、もっと生き物みたい形で、繊維とか、細胞になったら、「建築の細胞」、「生きものみたいなガラス」になっていくかもしれません。

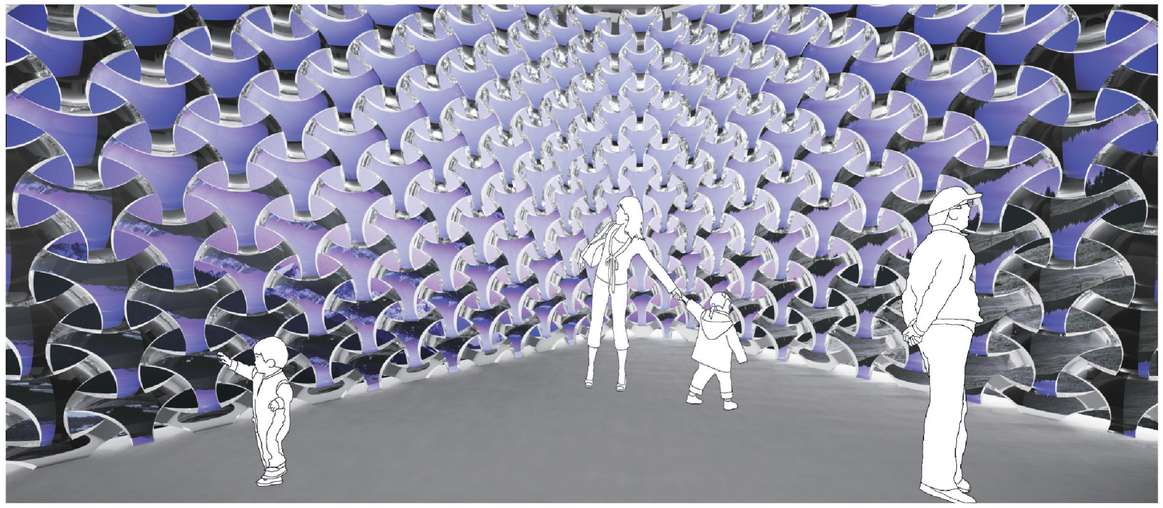
ガラスの綺麗さを現れる

ガラスの透明感が一番好きな特性です。光がガラスに差すことで、光の角度によって、ガラスから光の変化が起こり、異なる表情が現れ、観る人は生物の多様性を感じると思い出します。



細胞のように環境によって、変化できます。

一つずつを組み込む時、穴があって、いい天気があったら、裏でも自然な空気を感じられるし、もし風が強くなったら、連結の部分はそのまま、長さが変更しないように、広さを調節できたら、細胞と同じように環境によって適切な形に変更できます。



ガラスが生き物みたいな意外性になる。

中から見ると、外の景色がとんとん分けているの状態に現れていますから、意外な綺麗さを見えるし、生き物のようなガラスを感じるかもしれません。